

## 2020 年度

## 授業概要

科目名	解剖学実習				授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
作業療法にとって、骨や筋などの運動器の理解は非常に重要になる。身体各部位の運動器についてその構造をしり、それが意味する事や機能を理解し、今後の作業療法学専門領域の学習の基礎を築く。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。									
〔講師の実務経験〕									
OTとして、臨床及び、地域訪問リハビリテーションに24年間従事。									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
全身の運動器系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	上肢の解剖（筋・関節・神経）①								
3	上肢の解剖（筋・関節・神経）②								
4	上肢の解剖（筋・関節・神経）③								
5	上肢の解剖（筋・関節・神経）④								
6	上肢の解剖（筋・関節・神経）⑤								
7	上肢の解剖（筋・関節・神経）⑥								
8	下肢の解剖（筋・関節・神経）①								
9	下肢の解剖（筋・関節・神経）②								
10	下肢の解剖（筋・関節・神経）③								
11	下肢の解剖（筋・関節・神経）④								
12	下肢の解剖（筋・関節・神経）⑤								
13	下肢の解剖（筋・関節・神経）⑥								
14	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）①								
15	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）②								
16	頭頸部～脊柱の解剖（筋・関節・神経）③								
17	まとめ①								
18	まとめ②								
19	脳の解剖								
20	〃								
21	〃								
22	脊髄の解剖								
23	〃								
定期筆記試験									

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 解剖学	野村	医学書院
プロメテウス 解剖学コア アトラス	坂井	医学書院

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験 実技試験 小テスト
----------------